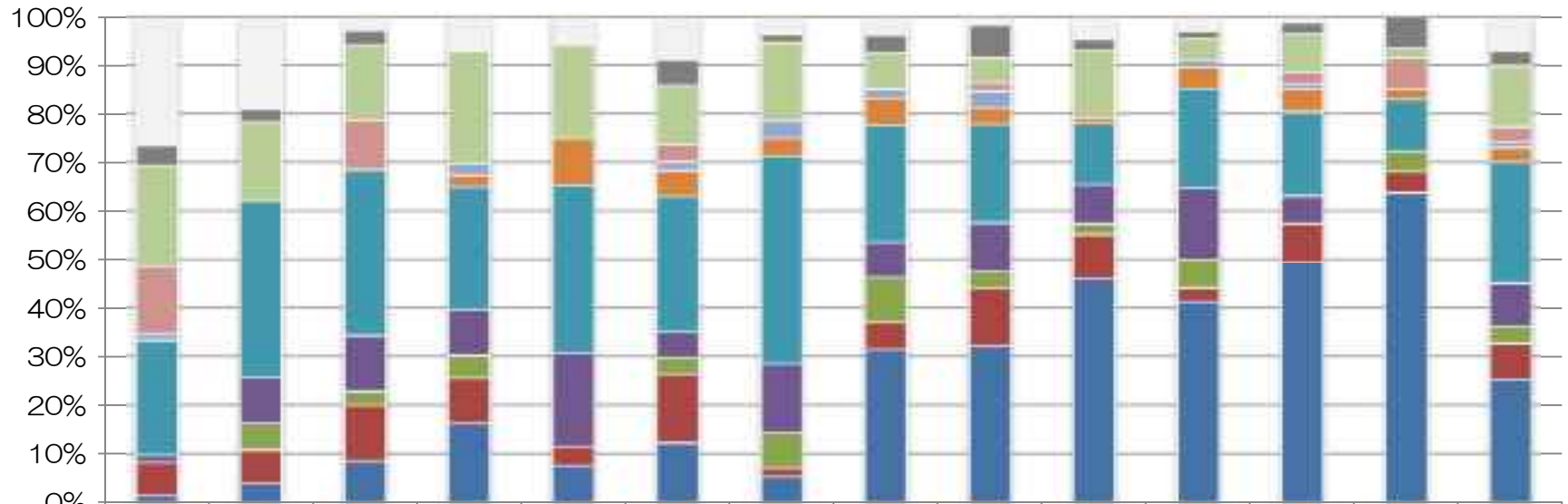


2-1. 原因施設別 食中毒事件数



	昭和29 ~33年	昭和34 ~38年	昭和39 ~43年	昭和44 ~48年	昭和49 ~53年	昭和54 ~58年	昭和59 ~63年	平成元~ 5年	平成 6 ~10年	平成11 ~15年	平成16 ~20年	平成21 ~25年	平成26 ~28年	合計
不明	19	14	2	3	3	5	2	2	1	4	2	1	0	58
■その他	3	2	2	0	0	3	1	2	4	2	1	2	3	25
■家庭	15	12	11	10	10	7	9	4	3	12	3	7	1	104
■魚介類販売業	10	0	7	0	0	2	0	0	1	0	0	2	3	25
■製造業	1	0	0	1	0	1	2	1	2	0	1	1	0	10
■弁当屋	0	0	0	1	5	3	2	3	2	1	3	4	1	25
■仕出し屋	17	27	24	11	18	16	24	13	12	11	14	15	5	207
■旅館	1	7	8	4	10	3	8	4	6	7	10	5	0	73
■すし屋	0	4	2	2	0	2	4	5	2	2	4	0	2	29
■給食	5	5	8	4	2	8	1	3	7	8	2	7	2	62
■飲食店	1	3	6	7	4	7	3	17	19	40	28	43	30	208

食中毒の発生が最も多い原因施設は「飲食店」の208件（25.2%）であり、平成に入って増加しており近年は50%を超えている。次いで「仕出し屋」207件（25.1%）、「家庭」104件（13.5%）の順であるが、昭和に比べ減少している。

これらの傾向は、仕出し料理を家庭等で食べるのが減り、飲食店で会食することが増えている生活様式の変化による影響であると考えられる。